

日本の海岸線を歩く会 歩行報告書

報告者：坂本 徹

1. 概要

歩行名称	山陰1(須佐駅～下関駅)
歩行区間詳細	スタート地点: JR須佐駅 ゴール地点: JR下関駅
実施期間	2019年10月1日(火)～10月4日(金)
全歩行距離	185Km

2. メンバー表

No.	役割・分担	氏名	年齢	歩行日数	備考
1	リーダー	坂本 徹	62	4日	
2	記録・運転	斎藤 篤二	80	4日	
3	記録・運転	森 正昭	78	4日	
3	記録・運転	松田 治男	68	4日	
4	記録	山本 忠	75	4日	
5	企画・会計	松本 明子	70	4日	
6	企画・庶務	松本 美和	54	4日	

3. 歩行の概要

	月日	出発地～到着地	歩行距離	歩行参加者
1	10/1	JR須佐駅～萩城址指月	46Km	坂本、斎藤、森、松田、山本、松本明子、松本美和
2	10/2	萩城址指月～JR長門栗野駅	65Km	同 上
3	10/3	JR長門栗野駅～JR福江駅	60Km	同 上
4	10/4	JR福江駅～JR下関駅	14Km	同 上
合 計			185 km	

4. 参加費

参加者延べ日数 4日*7人=28人日

参加費合計 2,800円

《参考》一人当たりの費用(現地往復の交通費を除く)

① レンタカー 11,227円(内訳:車借用と保険 10,450円、ガソリン代 777円)

② 宿泊料 1泊目: 8,622円

2泊目: 9,143円

3泊目: 13,350円

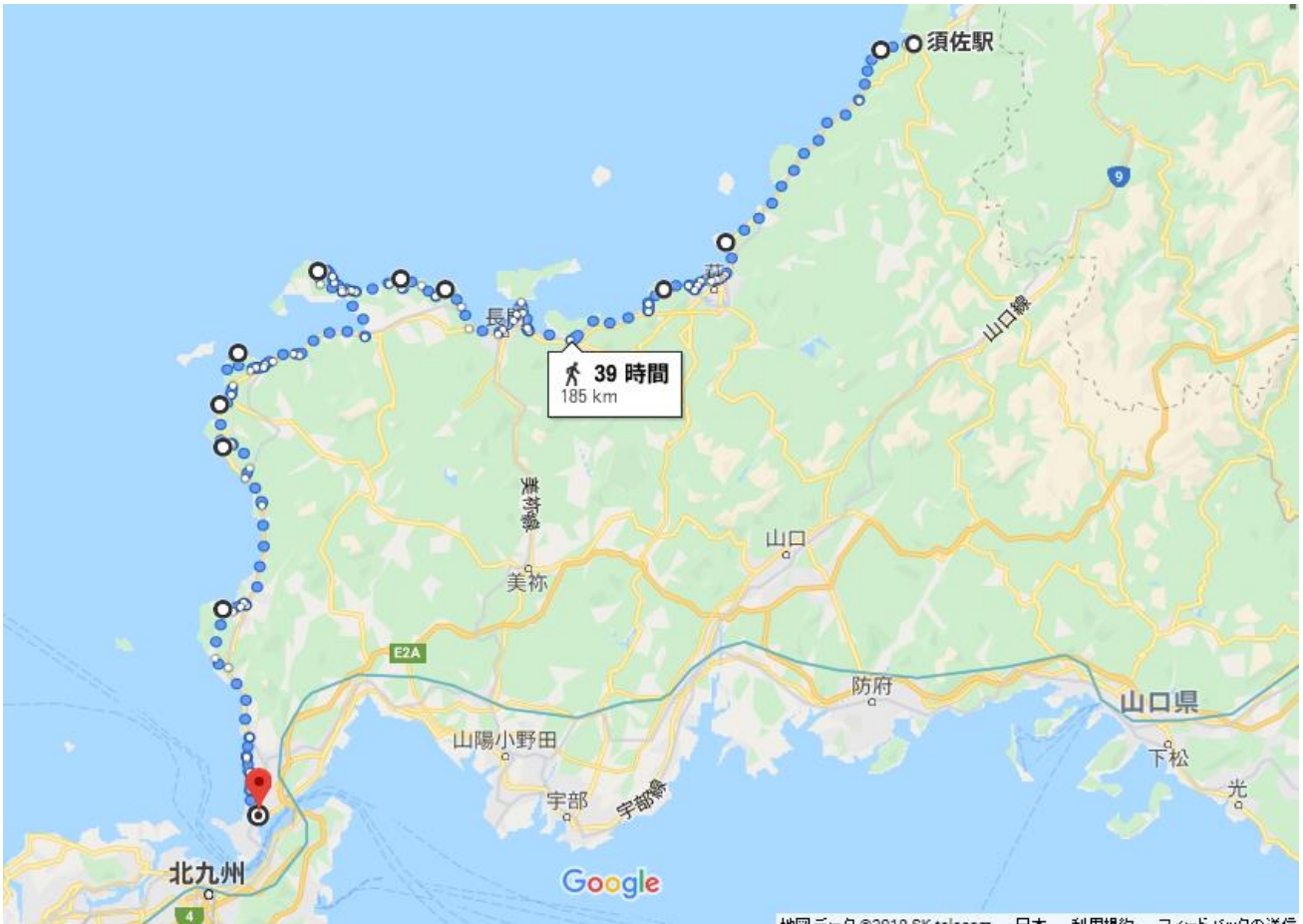
飲物代等 4,098円

③ その他(入場料、駐車場代) 289円

①～③ 合計 46,729円

5. 歩き方

- 3班（各班2～3名）リレー方式で歩いた。
- 歩行の効率化のためレンタカーを併用した。
- 地図は次のとおり（スタート：JR須佐駅 → ゴール：JR下関駅）



6. 歩行の詳細

【はじめに】

2013年11月13日に富山県高岡市の万葉線中伏見駅を起点として、山口県下関市のJR下関駅まで左回りで北陸ブロックと山陰ブロックの歩行が開始された。メンバーは、篠崎次郎、斎藤篤二、松本明子、松本美和の4人であった。

その後、9回の歩行実施を経て、今回下関駅到達への歩行が実施された。今回の歩行距離を含めて、総歩行距離は1,515 kmとなった。7年に亘る歩行実施回数は11回となったが、斎藤篤二、松本明子、松本美和の3人が全歩行に参加した。

今回歩行の山口県のJR須佐駅からJR下関駅までの海岸線は、北長門海岸国定公園に指定されるなど、美しい海と変化に富んだ海岸線に恵まれていた。また沿岸は漁業基地や地場産業として利用されていた。

今回歩行の総距離は185 kmで、これまでの歩行では最長であること、台風の影響により歩行が制限されることから、下関駅までは難しい状況にあった。しかし、幸運にも台風が逸れて影響小となり、更に危機感がメンバーの結束を強化して、全員元気に完歩することができた。

【移動・前泊】9月30日（月）曇り時々晴れ

1日2往復の萩石見空港は、午前便と午後便の運賃に大きな差があり、運賃差額で1日分のお宿代がまかなえることがわかり、前泊する行程となった。メンバー全員は、9月30日午後便のANA早期購入割引を利用して、羽田空港から萩石見空港に移動した。

お宿は、JR益田駅前の益田グリーンホテルモーリス。駅前という立地や新しい設備もさることながら、とことん利用者目線のサービスが素晴らしかった。夜食用として夜泣きラーメンのサービスもあった。夕食は2グループに分かれて、上戸組は「さかなや道場」にて、下戸組は「穴場のイタリアン」にて前夜祭が行われた。



JR益田駅に到着



益田グリーンホテルモーリス



夜泣きラーメン

【1日目】10月1日(火) 曇り時々晴れ

歩行初日は朝からスタート。充実の朝食バイキングでお腹を満たし、8時に益田駅近くのレンタカー店に集合して、前回歩行のゴールとなったJR須佐駅に移動した。



歩行スタート前にJR須佐駅にて



朝食バイキング

1班(松本美和、松田) 須佐駅～宇田港 14.3Km 4時間40分

9:00 歩行開始、国道191号を避けて、須佐漁港から山陰本線に沿って通じている旧道に行く。萩の花が咲き誇ってちょっとだけ海岸線を歩いたあとは山道となった。

11:00 大刈峠を通過し、道端に落ちている栗を拾いながらの歩行、栗もベストシーズンでたくさん収穫した。

12:00 惣郷に到着し、須佐駅で教えてもらった惣郷川橋梁を眺めながら昼食を摂る。曲線を描くコンクリート橋が架かっており、写真スポットになっている。



JR山陰線 惣郷の橋



昼食後、歩行を再開。弁天崎漁港で民家のトイレを借りる。須佐から（3時間も）よく歩いてきたね！と言われる。

13:40 宇田海岸、山陰本線に沿って歩行し、宇田港の宇田郵便局（ゴール）に到着。カンナの赤い花が咲き誇っていた。

松本美和さん曰く。ちょうど満開の萩や金木犀、ヒガンバナが見事でした。名前のわからない植物は、松田さんのアプリで検索。カンナが食用になるということを知った。



宇田海岸に咲くカンナ

2班（松本明子、斎藤）宇田港～道の駅「阿武町温泉プール」 15.0km 6時間20分

9:20 宇田港スタート。二つ目のトンネル(田部)を海側に迂回する筈が倒木で行けないため、もう一つ山側の道を敢えて選ぶ。山地の林に続き突如棚田があり、豊かな実りの頭を垂らす数枚の棚田が展開し、今まさに豊饒の時である。此处では珍しく日本の稲作に力を感じる。

10:20 井部田で小休止。この後登り下りを経て、軽トラを止めておじさんに道を確かめて上井部田から田部の踏切り経由で10時50分国道191号に戻る。トンネル(国道)を行けば3分の1の時間で済んだ。

12:10～12:40 木与駅にて昼食、駅はほぼ利用者のない気配でトイレなし。



スタート前に宇野港の漁協支所にて



田部の棚田



木与駅

13:00 宇久。彼岸を過ぎて柿の実る頃に、今盛りの彼岸花が咲いている。

13:30 50人程の小学校児童が敷地の草刈りを賑やかにしていた。こんなに大勢の子供に会うのはなかったことだ。

13:40 奈古駅、思えばこんな建家の連なった場所に来た。人家が途切れずに続き、着々と市街に来ていることを実感した。

15:40 阿武町温泉プール(ゴール)に到着。どこの道の駅も瀟洒でスタッフも揃っており、地域の人々の生活の必需品になっている。いまやコンビニ同様に繁栄しているが、全国展開の事業実態を公開しないのはいかなものか。



彼岸花と柿の実



阿武町道の駅温泉プール

第3班（坂本、山本、森） 道の駅「阿武町温水プール」～萩城址駐車場 16.4 km 4時間20分

9:40 スタート、海沿いの国道191号線から眺める海は穏やか、遠くに点々と島影がみえる。

突然、海中から黒い塊が！オットセイかと思ったら、ウエットスーツの漁師で手を振ってくれた。

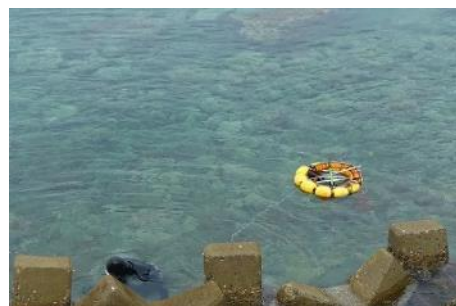
薄曇りだが、汗ばんできたので途中のローソンで、一枚上着を脱ぐ。海岸から離れると道端でコスモスが咲き、黄色に実った稲穂が一面に広がっている。秋の原風景は心が和む。



スタート地点の道の駅にて



海沿いの国道191号線を歩行



ウエットスーツの漁師

11:45 萩漁港・越ヶ浜着、砂浜の休憩所で昼食とする。砂浜に、「この砂浜付近ではヒラタブンブクが潜んでいるので注意」の看板あり。このブンブクさんはウニの一種のようで海水浴客泣かせらしい。

12:15 出発、家が密集した路地を行くと男が出てきた。内航タンカーの船員で、たまたま帰ってきているとのこと。「このあたりの人はみな漁師だったが、不漁続きで多くが陸に上がった」と話してくれた。坂本さんは当然だが、山本さんも元気に歩いている。見かけはスケルトンが服を着ているようだが、実に早くびっくりした。

幕末に作られた萩の反射炉跡や造船所跡を見送り、阿武川を渡ると萩の城下だ。寺が立ち並ぶ北古萩町にさしかかると、足どりが急に重くなった。山本さんはますます元気。



砂浜の休憩所で昼食



家が密集した路地



先頭を歩く山本さん、後ろが森さん

14:00 萩城址駐車場（ゴール）到着。萩城は海を引き込んで堀となし、背後に指月山を背負って作られたが、天守閣は明治になり解体されたとのこと。残っていたら美しい姿だったであろう。

ほかの班の到着まで、坂本さんとともにソフトクリームをなめる。

15:00 一同到着

全員で萩城址、旧厚狭毛利家萩屋敷長屋を見学、続いて、萩城下町の木戸孝允旧宅を車上から見学。

上級武士と中級武士の住まいの広さが歴然としていた。次いで、市内の東側にある吉田松陰の旧宅・松下村塾を訪ねた。松陰旧宅の玄関に「しめ飾り」が下がっていることにはびっくりした。数年前にはなかったことだ。



松下村塾にて



萩城址入口にて

17:20 お宿「海のゆりかご萩小町」到着

お宿は、日本海を一望できる露天風呂、天然大岩海上風呂が圧巻だった。夕食には、ふぐ刺しやフグのフライ、フグの炊き込みご飯と早くも名物を満喫。



2日日出発前にお宿の前で



夕食の料理



朝食の料理

【2日目】10月2日（水）曇り

8:05 お宿を出発、8:30 世界遺産の恵美須ヶ鼻造船所跡と反射炉を観る。萩藩の近代化へのパワーを感じる。
8:55 萩城址駐車場に到着



恵美須ヶ鼻造船所跡にて



反射炉にて

1班（坂本、松本美和）萩城址駐車場～仙崎（道の駅センザキッチン） 25.8 km 7時間05分

9:05 駐車場を出発、萩城址近くの見蘭牛のお店をちょっと覗いたあとは、橋本川にかかる風情ある常盤橋を渡り、美しい海岸線に沿って進む。山陰本線と何度も交わる県道を歩く。山陰本線の列車を3度見ることができた。

美しい海岸線と
ヒガンバナ



この日も山道が多かったけれど、ひょっこりひょうたん島のような島影の見える海岸線も見えた。青空トイレ1回。台風の影響で空も海も鉛色だけど、前日の蒸し暑さは少し和らぎ歩きやすかったです。

12:25~13:05 J R 飯井駅の待合室で昼食をとる。

山陰本線の時刻表を見ると 10~12 時台は普通列車の運行がないことが分かる。待合室に駅ノートが置いてあったのでメッセージを書く。

14:20 山陰本線と並行する県道を進み、三隅川の土手にて休憩。

青海島とゴールの仙崎港が見えてくる。

16:10 道の駅センザキッチン（ゴール）に到着。

歩行後はセンザキッチンのゆずきちジュースとゆずきちシャーベットを最長歩行区間を歩いたご褒美に！お迎えがくるまで直売所を巡る。



駅ノートを持って

2 班（森、松田） 仙崎（道の駅センザキッチン）～津黄漁港 21.2km 6 時間 30 分

9:30 道の駅センザキッチンから歩行開始、（金子）みすず通り、J R 仙崎駅を通過し、深川湾沿いを長門市の中心部に向かう（仙崎港は舞鶴港と同様に、海外引揚げ上陸の拠点となった）。山陰本線の踏切を越えて、国道 191 号線沿いに歩行し、只の浜海水浴場でトイレ休憩。

11:00 只の浜海水浴場を出発、はじめ、国道沿いを歩き、境川で山陰本線・海岸線に沿った道路に入り、黄波戸漁港で昼食にする。台風接近のためか、漁船は出港していないようだった。途中、週に 2, 3 日萩市内の自宅から実家に来て、今はミカン栽培に精を出しているオジサンと立ち話する。

12:40 黄波戸漁港を出発、黄波戸温泉ホテルを通過し海岸線に近い山道を探したが、不安だったので、県道をそのまま黄波戸岬に向かう。黄波戸岬を下り、長門古市駅で休憩。

13:40 長門古市駅を出発、ヒガンバナの咲き誇っている県道を津黄岬に向かう。

15:20 標高差は 200m 程度だが、疲れも出ており老体には結構きつい登りだったが、無事津黄岬に到着。元の隅神社がパワースポットとして有名になり、休日は岬まで渋滞になるとのこと。

16:00 標高差 200m を一気に下り、津黄漁港（ゴール）に到着。



只の浜海岸から長門市方面



長門古市のヒガンバナ



津黄（つおう）漁港

3 班（山本、松本明子、斎藤） 津黄漁港駐車場～長門粟野駅 18.4km 5 時間 50 分

10:30 元乃隅神社から津黄漁港の駐車場に変更して駐車し、スタート。

11:20 後島の農耕用ため池。

12:30~13:00 西光バス停で昼食

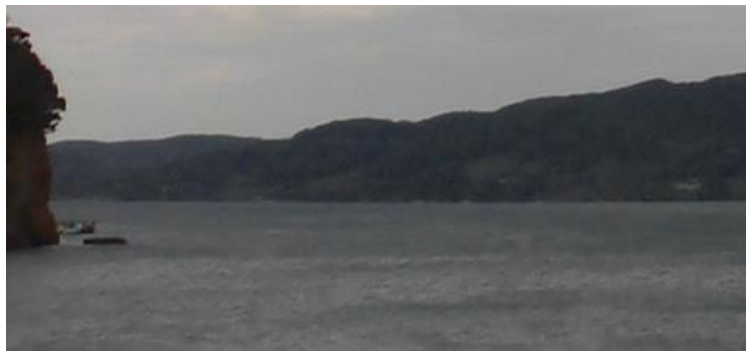
13:20 みのが岬トンネル。県道は迂回するのでショートカットをねらって細かい道を探すが、結局は戻される。

14:00 渡場、地名は以前渡し場があったからである。油谷大橋ではなく新橋を渡る。油谷湾はコの字型の大

きい湾で漁港、砂浜もあるが、戦前に戦艦長門の駐留地になっていた所でもある(地元酒店主人談)。その海辺を歩行する。明日歩行の分を含めて8km程の距離になる。



後畠の農業用ため池



コの字型の油谷湾

10月2日の天気予報は、台風18号が日本海を通過して強風大雨になると予想していた。幸運にも予想がはずれて今日は晴れ、風もない。まさに奇跡だ、難を逃れた。

16:20 長門栗野駅(ゴール)に到着。

17:40 お宿「湯免観光ホテル名湯ゆめの郷」到着

お宿は、予約した宿のある角島は長大な海橋(長さ1.6km)がツアースポットだが、角島大橋の強風による通行止めリスクを避けるため、2日前に湯免観光ホテルに変更した。

温泉は、ラジウムが多くとろみのある泉質が素晴らしく、まさに化粧水のような感じ。夕食は昨日に引き続きフグとむつみ豚が登場。食後のデザートが昨日と同じく、フルーツとちっちゃなおはぎ。萩近辺ならではのおもてなし?!



3日目出発前にお宿の前で



夕食の料理



朝食の料理

【3日目】10月3日(木)曇り時々晴れ、昼に一時雨

8:00 お宿を出発し、8:55に1班のスタート地点に到着。

1班(坂本、松田) 長門栗野駅~矢玉郵便局 22.1Km 6時間30分

9:00 長門栗野駅から歩行開始、一度、国道沿いに栗野川を渡り、その後、山陰本線・海岸線に沿った旧道を歩く。海岸線に沿った旧道はほとんど通行しないようで、蜘蛛の巣をかき分けながら進む。海岸近くの

ブッシュのためか、ハサミの赤い中型の蟹が歩いている（アカテガニ）。



スタートの長門栗野駅にて



栗野の海岸から川尻岬方面



アカテガニ

10:20 大浦地区出口の庚申塚で休憩、黄色のヒガンバナが咲いている（ショウキズイセン）。その後、ほうせんぐり海浜公園を經由して、廃校となった阿川地区の幼稚園、中学校などを横目で見ながら、島戸漁港經由で角島大橋に向かう。

12:15 角島大橋の直前から風雨が激しくなったが、そのまま大橋入口の売店まで歩行し、到着。トイレ入口で昼食、雨合羽に着替える。

12:50 角島大橋を出発。風雨の中、時に波しぶきを浴びながら、特牛（こっとい）港經由で、道の駅「ほうほく」まで必死に歩く。

14:15 雨が上がったので、道の駅で合羽を脱いだ後、出発。土井ヶ浜遺跡を横目で見ながら、時々、歩道の切れた国道 191 号をゴール目指して歩行する。

15:30 海岸近くの矢玉郵便局（ゴール）に到着。



大浦の庚申塚と黄色のヒガンバナ



暴風雨の角島大橋



ゴールの矢玉郵便局にて

2 班（松本美和、斎藤） 矢玉郵便局～湧田漁港 20.3Km 7 時間

9:00～9:30 角島大橋を 3 班と一緒にレンタカーで往復

10:00 矢玉郵便局発、この日は雨対策万端で出発。このコースは国道 191 号で歩道のないところが多い。交通整理員用ベストを着け、波のしぶきとその轟音に車の接近音が消されるけれど、通行車に注意を配って速足で歩く。国道でも幅員がないので歩道がない。左側歩行で車道の端を歩く、後ろから車が来るのを覚悟して急ぐ。台風の強風が海側から吹きつけ対向する。



角島大橋



強風下の国道

11:30 宇賀本郷駅通過

12:10～12:40 湯玉駅。清潔に掃除された待合室でゆっくり昼食をとる。雨が降り始めるが雨宿りにはうってつけだ。午後の強風と強い雨は、やはり台風が近いことを感じる勢いであったが、幸いゴールする前には上がった。

14:10 小串、雨もやみ国道 191 号を避けて幅 40m 程の広い海岸道路の計画道路に行く。途中から細い道になるが、ゴールの湧田漁港に着く。

15:00 湧田漁港（ゴール）到着

15:20 1 班のゴールに車で向かう。

16:30 福江駅前集結



夫婦岩



山陰線沿いの国道 191 号

第 3 班（松本明子、山本、森） 湧田漁港～福江駅 17.3 km 5 時間

昨日は角島大橋を渡った角島旅館に泊まる予定だったが、台風による荒天で橋が通行止めの心配があり、お宿が変更となった。山口県の名所となっていると聞き、2 班と一緒に角島大橋を往復した。1.6 km にわたるアーチ橋で、晴れていたらさぞ見事だったろう。島の住人 600 人のためとしては、法外な建造物である。さすがは総理大臣の出身地と感心した（総工費 149 億円をかけて 2000 年 11 月に開通）。



10:30 湧田漁港発、空模様が怪しく、そのうち雨になるだろう。農家の庭先がもみ殻で埋まっていたのにビックリ。農家の人に早速明子さんがインタビュー。

しばらく行くと、銭形模様の蛇にビックリ！頭がつぶされていて一安心した。

畑仕事の男性に声をかける。山本さんと明子さんも興に乗って話し込む。以前、相模原市の津久井に住んでいたが、リタイア後、萩のほうに移住したという。ここはのどかで充実した毎日とのこと。

11:40 室津駐在所の前で一服。



農家の人にインタビュー



畑仕事の男性に声かけ



銭形模様の蛇

緩い登りにかかる頃雨になった。2 班のほうに黒雲が流れていく。斎藤さんらは降られるだろうと 3 人で話す。傘を出して歩きは始めたら、また銭形模様がニョロ・・・とのびていた。2 匹目はさらに長い！登りつめると風雨が強くなった。法林寺のお堂の下で昼食をとることとした。本堂の前には大きな対のソテツが 7 本の枝を広げ、樹齢 300 年とあった。

大きな対のソテツ

12:35～13:05 仏縁に感謝しつつ昼食。

雨が強風で横に流れている。歩き始めたところでまた銭形模様、3 匹目だ。

一度海辺に出るが、海は大荒れで、風も強い。そして道は、永田でまた 191 号線と合流した。吉見駅近くのコンビニで休憩。

14:30 コンビニ発。人家が途切れ、右に荒れた海を見ながらひたすら歩く。時々海水交じりの風がどっと吹いてくる。山本さんが



1班（斎藤、松本明子、坂本） 福江駅—安岡郵便局 4.3km 1時間

9:00 福江駅スタート、歩道がある国道を進んでいく。途中から右折して海岸線に道路を進む。

9:25 横野天満宮に立ち寄り、安全歩行祈願。進んでいくと下関市街とその奥に九州が見渡せる。

10:00 安岡郵便局（ゴール）に到着

スタートの福江駅にて



2班（森、松本美和） 安岡郵便局～下関環境未来館 3.8km 50分

9:10 安岡郵便局をスタート。ようやく晴れて美しい空と海を眺めながら、海沿いの国道191号線を歩行。中山忠光の墓近くを抜けて県道248号に合流。

10:00 しものせき環境未来館（ゴール）に到着、お天気がよいと話も弾んであっという間でした。

3班（山本、松田） 下関環境未来館～サンキュードラッグ元町店 4.1km 1時間

9:20 しものせき環境未来館をスタートし、街中を歩行。一度、山陽本線をくぐり、線路沿いに下関駅手前のサンキュードラッグ元町店まで歩行。

10:20 集合場所のサンキュードラッグ元町店（ゴール）に到着。

全員（7人） サンキュードラッグ元町店～下関駅 2.0km 30分

10:35 サンキュードラッグを出発、昭和の商店街で往時の賑わいはないけれど懐かしい雰囲気グリーンモール商店街を通り、全員で下関駅まで歩行。



出発前のサンキュードラッグにて



グリーンモール商店街にて



下関駅直前で手を繋いでゴールへ

11:05 下関駅（ゴール）到着、これで山陰ブロック歩行が完結。下関駅を入れて証拠集合写真を撮影。



11:45 坂本がレンタカーを回収して、下関駅にて全員乗車のうへ唐戸市場に移動。

12:10～13:10 唐戸市場のカモンワーフ「からと屋」にて、山陰ブロック歩行完歩を祝して会食。参加者全員が歩行完歩を喜びながら感想を出し合った。

その後、みもすそ川公園、火の山公園を観光して、新下関駅にて解散した。参加者は、それぞれ達成感をかみしめながら、更なる夢を求めるため次の目的地に向かった。



山陰ブロック歩行完歩を祝して会食



唐戸市場



みもすそ川公園にて



火の山公園にて

松本美和さん曰く：唐戸市場では、刺身になる前の下処理されたフグが一尾 3500 円！買って帰って実家でさばいてみたかったけど、汁物用のフグのアラでガマン。これが大正解で、実家にはフグ刺しが買ってあった。昼食後、関門海峡を眺めながら、2013 年秋に能登から出発して、とうとうここまできたのだなあ…。一番よい季節に、歩くスピードで五感を満たし、数多くの出会いに恵まれた、本当に幸せな旅だった。

森正昭さん曰く：「日本の海岸線を歩く旅」は、一種の「トレイル」である。しかし海岸線をぐるっと歩く 2 万キロに及ぶような長大な「トレイル」は、聞いたことがない。私の「トレイル」とは、自分が知らなかった日本の自然や人々の生活を再発見すること。旅人と地域の人々が出会いの機会を作ること。さらには、気が付いたことを、記録し情報発信していくこと。